

平成29年度 行政評価 施策カルテ

施策名	2 生物多様性の保全
-----	------------

施策主管課	環境保全課	総合計画記載頁	127ページ
-------	-------	---------	--------

1 施策の位置付け

政策の柱	Ⅲ 市民の快適な暮らしを支えるために	政策名 (基本施策名)	14 良好な水と緑の環境を創出する	政策の達成目標 (基本施策目標)	市民が身近に自然と親しめる良好な水と緑の環境が創出され、自然との共生が深まっています。
------	--------------------	----------------	-------------------	---------------------	---

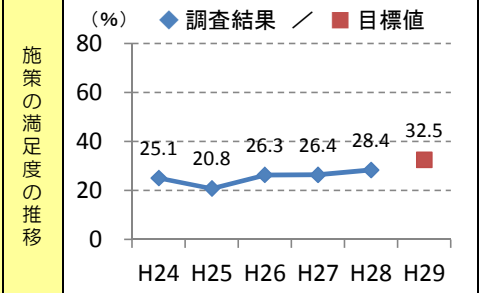
2 施策の取組状況

施策目標	人と自然との共生により、豊かな生物多様性が守られています。
------	-------------------------------

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 市民意識調査結果	指標名(単位)		H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価
	指標1	生物多様性保全の意識を持った自然ふれあい活動の体験者数	単年度目標値	—	1,200	2,400	3,600	4,800	6,000		A	指標3	施策の満足度(%)	調査結果	25.1%	20.8%	26.3%	26.4%	28.4%
現状値		—人	実績値	—	472	1,997	2,873	4,328	目標値(H29)	32.5%			前年度からの増減	—	-4.3pt	5.5pt	0.1pt	2.0pt	
目標値(H29)		6,000人	単年度の達成度	—	39.3%	83.2%	79.8%	90.2%	③ 主要な構成事業の進捗状況 (主要な構成事業の個別の進捗状況は、「3 施策を構成する事業の状況」を参照)	B									
指標2	現状値	実績値							【参考】中核市等との水準比較	中核市平均									
	目標値(H29)	単年度の達成度								実績値									
指標3	現状値	実績値							【参考】中核市等との水準比較	中核市での本市の順位									
	目標値(H29)	単年度の達成度								実績値									

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 逓増型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$
★ 逓減型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$



※評価の考え方

① 施策指標	A: 達成度90%超 [33点]	B: 達成度70%~90% [25点]	C: 達成度70%未満 [15点]
② 市民意識調査結果(満足度)	A: 前年度より向上 (±5pt超) [33点]	B: 前年度同水準 (±5pt以内) [25点]	C: 前年度より低下 (-5pt超) [15点]
③ 主要な構成事業の進捗状況	A: 計画以上 (主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点]	B: 計画どおり (主要な構成事業の8割以上が計画どおり) [25点]	C: 計画より遅れ (主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点]
総合評価	順調: (A評価が2つ以上 (C評価がある場合を除く。)) [90点以上]	概ね順調: (主にB評価が2つ以上) [65点以上90点未満]	やや遅れている: (C評価が2つ以上) [65点未満]

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況

施策を取り巻く環境等	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年10月の生物多様性条約第10回締約国会議において、新たな世界目標である愛知目標が決定されたことなどから、平成24年9月に生物多様性国家戦略2012-2020が策定された。 平成24年9月に新たな国家戦略が策定されたことを受け、平成26年3月に生物多様性地域戦略策定の手引きが改定された。 平成28年3月に「生物多様性とちぎ戦略〜つなごう いのちの共生を いま「とちぎ」から〜」が見直された。 平成29年3月に「第3次栃木県レッドリスト」が公表された。 		83点	
施策指標	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度は、「うつのみや生きものつながりプラン」に基づき、パネル展の拡大や環境学習センターが実施した環境学習講座などのほか、市が実施している自然ふれあい活動やイベント等の機会においても生物多様性の周知啓発に取り組み、前年度を上回る体験者数を確保した。 総合計画の改定に伴い、平成25年度から施策指標を「主要河川の水質調査における環境基準(BOD)の達成率」からより適切な指標である「生物多様性保全の意識を持った自然ふれあい活動の体験者数」に変更した。 	市民満足度	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度からは「うつのみや生きものつながりプラン」に基づき、生物多様性について、様々な広報媒体を活用した周知啓発の拡充や保全活動の実施、さらには、自然ふれあい活動において前年度を上回る体験者数を確保することができたことなどにより市民満足度は向上している。 	概ね順調

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象, ★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(5事業選択)

No.	事業名	戦略P・ 主要事業 ※	事業の目的	事業内容		事業の 進捗状況	H28 事業費 (千円)	開始年度	日本一 施策 事業	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物(誰・何に)	取組(何を)					
1	生物多様性保全の推進	○★	・生物多様性保全に関する意識の醸成を図る。 ・関係課等と連携のうえ、生きものの生息・生育環境のつながりの確保を図る。	市民・事業者等	・生物多様性に関する市民理解の促進 ・生物多様性の保全と持続可能な利用に関する行動・配慮の促進	計画どおり	98	H23		・「うつのみや生きものつながりプラン」に基づき、本市の豊かな自然環境を今後も保全し、生物多様性の恵みを持続的に享受していくため、生物多様性について「大切さを知る」と「守る」を基本方針とし、幅広い世代に対する周知啓発や人材育成などにより生物多様性に対する意識の醸成を図るとともに、関係課等と連携のうえ、生きものとその生息・生育環境のつながりを確保する各施策により生物多様性の保全に努めるほか、近年増加しつつある外来種等による影響についての周知啓発や、地球温暖化などの地球環境の変化への対応についての調査研究を進めていく。
2	自然環境アドバイザー会議	★	・自然環境専門家によるアドバイザー会議を開催し、自然環境に配慮した公共事業の実施に向けたアドバイスを受ける。	市(公共事業)	・本市公共事業における生物多様性への配慮	計画どおり	141	H10		・引き続き、開発による生物多様性への負荷低減のため、自然環境アドバイザー会議の意見を反映し、本市の公共事業において生物多様性の保全を図っていく。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
<p>課題</p> <p>◆生物多様性保全の推進については、本市の豊かな生物多様性を市民共有の財産として保全し、後世に継承していくことが責務であることから、生物多様性保全の重要性について周知啓発や人材育成を進めるとともに、保全活動の促進にまでつなげていく取組を計画的かつ効果的に推進していく必要がある。</p> <p>◆平成28年度に実施した市政に関する世論調査によると、生物多様性について「言葉の意味を知っている」割合が27.6%(対前年比3.2%増)と、前年度と比較して上昇しているが、生物多様性の保全を進めるにあたって、更なる意識の醸成が必要である。</p>	<p>方向性</p> <p>〈施策全般〉 ◆「うつのみや生きものつながりプラン」に基づき、本市の豊かな自然環境を今後も保全し、生物多様性の恵みを持続的に享受していくため、生物多様性について「大切さを知る」と「守る」を基本方針とし、幅広い世代に対する周知啓発や人材育成などにより生物多様性に対する意識の醸成を図るとともに、関係課等と連携のうえ、生きものとその生息・生育環境のつながりを確保する各施策により生物多様性の保全に努めるほか、近年増加しつつある外来種等による影響についての周知啓発や、地球温暖化などの地球環境の変化への対応についての調査研究を進めていく。</p> <p>〈主要事業〉 ◆生物多様性保全の推進 ・「うつのみや生きものつながりプラン」で定めた基本方針に基づき、生物多様性についての正しい理解と保全活動の促進のための事業を実施していく。 ・中でも、多くの市民が生物多様性について正しく理解し、生物多様性保全に関する意識を高め、保全活動につなげるため、パネル展の拡充やリーフレットの自治会等への回覧など、周知啓発の機会の拡大を図り、生物多様性の保全に関する意識の醸成に重点をおいた事業を実施していく。</p> <p>〈その他個別事業〉 ◆自然環境アドバイザー会議 ・引き続き、開発等による自然環境への負荷軽減のため、自然環境の専門家の意見を反映し、本市の公共事業の実施にあたり、生物多様性の保全を図っていく。</p>